

児童発達支援センター「すきっぷ」
2020年度 自己評価表

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	82%	18%	0%	利用児受け入れに必要な面積は確保されています。
	2	職員の配置数は適切であるか	82%	18%	0%	利用児受け入れに必要な人員配置は確保されています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	27%	45%	27%	幼児用トイレが設置されていない実態があり、改善の必要があると認識しております。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	73%	27%	0%	担任間や児童発達支援管理責任者と振り返りを行い、業務改善に努めています。
	5	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	64%	36%	0%	年に1回保護者にも評価をしていただき、意見・意向の把握を行っています。今後も改善に向け、努力します。
	6	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	100%	0%	0%	2018年度より自己評価及び保護者向け評価表をホームページで公表しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	73%	18%	9%	第三者委員による定期的な評価を受けております。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	73%	18%	9%	月に一度、職員向けの講義研修を実施しました。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	100%	0%	0%	
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	73%	27%	0%	
	11	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	70%	30%	0%	今後もお子さんと保護者の方々のニーズにあった支援計画を作成するよう努めます。
	12	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	100%	0%	0%	
	13	活動プログラムの立案をチームで行っているか	100%	0%	0%	今後もチームで話し合いながら、より計画的に進めていけるよう努めます。
	14	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	91%	9%	0%	今後も多様性、個別性に配慮したプログラム提供に努力します。
	15	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	82%	9%	9%	今後も個別性の視点を持ち、支援計画に反映させていけるよう努めます。
16	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%	0%	0%		

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
	17	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	100%	0%	0%	
	18	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	91%	9%	0%	支援後に記録をとることが徹底されており、クラス間でのその日の支援についての振り返りを行っています。
	19	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	91%	9%	0%	学期ごとにモニタリングを実施しています。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	90%	10%	0%	
	21	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	80%	20%	0%	お子さんやその家庭の状況に応じて、療育相談員等との連携をとっています。
	22	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	非該当			
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	非該当			
	24	保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	73%	27%	0%	移行の際、ご本人の様子の観察機会・話しの機会等を持っています。
	25	小学校や特別支援学校(小学部)との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	73%	27%	0%	移行の際、ご本人の様子の観察機会・話しの機会等を持っています。
	26	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	20%	50%	30%	例年「かながわエース」主催の研修会へ参加していましたが、コロナ禍により参加困難となりました。引き続き、積極的に研修を受講します。
	27	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	10%	40%	50%	お子さんの実態・ニーズに応じ、交流の必要がある場合は前向きに検討します。
	28	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	50%	30%	20%	子ども部門には、児童発達支援管理責任者が出席しています。
	29	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	82%	18%	0%	
30	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	50%	30%	20%	保護者対象の勉強会、懇談会は設定していますが、ペアレントトレーニングは未実施です。今後、お子さんの実態に合わせ、必要がある場合は導入を検討します。	
	31	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	91%	9%	0%	
	32	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	100%	0%	0%	

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
保護者への説明責任等	33	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%	0%	0%	
	34	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	56%	33%	11%	今年度はコロナ禍において、保護者同士の交流を支援する機会を十分に設けることが出来ませんでした。今後は状況を配慮しつつ、実施するよう計画します。
	35	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	90%	10%	0%	保護者の相談や申入れに対して迅速に適切にお応えできるよう努めます。
	36	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	91%	9%	0%	「すきっぷ便り」を毎月発行し、活動報告や翌月の行事等の発信をしています。
	37	個人情報の取扱いに十分注意しているか	100%	0%	0%	
	38	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%	0%	0%	
	39	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	30%	40%	30%	今年度はコロナ禍にあり、未実施でした。
非常時等の対応	40	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	82%	9%	9%	各マニュアルは策定されています。
	41	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%	0%	0%	
	42	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	100%	0%	0%	
	43	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	100%	0%	0%	
	44	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100%	0%	0%	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	90%	10%	0%	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	90%	10%	0%	身体拘束を必要とする実態はありませんでした。